

共同保育所の開設で組合員の社員が働きやすい環境づくり

## 新発田食品工業団地協同組合

- 所在地：〒957-0356 新発田市岡田1593番地5
- 電話番号：0254-22-2631
- 設立：昭和58年7月
- 出資金：18,280千円
- 組合員数：11人
- URL：<https://shibata-foodpark.jp/>

### 背景と目的

近年、当地域では派遣労働者の確保も困難な人材不足の状況にある。勤務先近くに保育所があれば利便性が高まり離職をせずに継続勤務が可能となることから、団地内に共同保育所を開設することが必要と考えた。

当事業開始のきっかけは、内閣府の「企業主導型保育事業」の補助金情報を得て、保育専門事業者の提案を受けたことで事業推進を決定した。

### 事業・活動の内容

企業主導型保育事業の検討委員会において、保育専門事業者の提案に基づき事業計画を立案。建築費、運営費、保育料、補助金などを検討した。

保育ニーズの有無については、組合員企業に勤務する社員約1,100名にアンケート調査を実施した結果、6歳以下の子を持つ保護者180名、内3歳以下の子を持つ保護者が70名いることを確認。組合員6社より保育所利用の意思が示された。

建築入札は6社に依頼。入札業務は不慣れで混乱もあったが1社に決定。工事が冬季で、積雪や寒冷による遅延が懸念されたが、平成30年4月2日の開園予定日に間に合わせる事ができた。

運営事業者の選定が一番苦慮した点であるが、保育専門事業者から紹介された社会福祉法人に決定。当該事業者は全国に複数園を経営し、運営実績が豊富であること、事業理念やコンセプトも共感できるものであり、視察の結果決断した。

今後は保育士の増加により、現状の定員19名を24名まで拡大し、組合員の利便性と負担の軽減を図りたいとしている。保育士の確保は、地域の労働条件等を確認しながら、新発田市による情報発信と連携し求人活動を進める。

現在、共同保育事業を活用している組合員は6社で、運営費の賦課金は組合員11社全社で負担していることから、全ての組合員に共同保育事業を活用してもらうようにしていきたい。

### 成果

園児数は、平成30年4月スタート時7名で、31年4月13名、31年10月には19名（定員）に拡充を予定している。また、保育所へ子供を預けることができる理由で3名が入社した。

運営収入の増加としては、保育士の増加で0歳児保育に対応し、定員を24名まで拡大していく計画を考えている。成功要因は、組合員間の絆と組合の推進力、専門家の活用や信頼できる団体への業務委託にある。